

国際交流・協力に関する情報誌

いちやい場通信

No. 75 June, 2019

The First English and Cross-culture Seminar



6/8 (土) にThe First English Cross-culture Seminarを開催しました！

English Cross-culture Seminarとは沖縄科学技術大学院大学 (OIST) にて次世代を担う高校生から大学生を対象にしているセミナーで、午前中は、インド、アメリカやイランなど世界各国出身のOIST 研究者やスタッフと英語のみで様々なテーマに沿って、コミュニケーションを図りました。

途中のディスカッションの時間では、2019年度の東京大学での入学式で祝辞を述べた上野千鶴子教授の「現代社会における性差別」を題材と取り上げ、英語でのグループワークを行いました。

討論を闊達に行うOIST関係者の様子を目の当たりにし、普段の学校でそのようなディベート形式の討論に慣れていない参加者は驚きの表情を見せ、新鮮さを感じたとの感想が寄せられました。



(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>



ランチタイムに行われた 英語によるOIST キャンパスツアーでは、最先端の科学・技術に触れる機会を持ち、「日頃関わることの出来ないOISTの研究者や施設等について学べた」「英語の学習意欲が向上した！」「日本人は積極的に意見を言うことが少ないのに対し、外国人は積極的でびっくりしたけど私もこうなりたい！」と感想がありました。



午後は、21世紀型スキルとされている「批判的思考力」を高める為の日本語でのグループワークを行いました。

「日頃はあまり考えず様々な話を聞いていたが、今後はもっと自分の意見や相手の話をちゃんと聞いて、批判的思考力を高めたい！」という意見や「自分の将来や夢に向けて大切なことや今後身につけたい事が学べた」と充実した時間を過ごした様子でした。

参加者は、日常で体験できない環境に驚きや、英語で表現できないもどかしさを感じながらも必死に伝えようとしている姿や真剣に考えている顔つきがとても印象的でした。これからも英語をツールとして学び、様々な人とコミュニケーションが出来る人材になって欲しいと思います！

本セミナーは年に5回開催予定で次回の第2回は、すでに当財団ホームページで募集を開始しております！！

定員に限りがあり先着順でのご応募になりますので興味がある方はお問い合わせや応募をお待ちしております！

The Second English Cross-culture Seminar

**日時：2019年8月3日（土）
9:30～16:00**

**場所：沖縄科学技術大学院大学
(OIST)**

↓財団お問い合わせフォーム↓

<https://kokusai.oihf.or.jp/events/1559266471/>

ENGLISH AND CROSS-CULTURE SEMINAR

参加者募集



目的

高校生から大学生までの若者を対象に、自分の考えを英語や日本語で論理的に発信できる基礎力を養うためのインプット型セミナーを沖縄科学技術大学院大学(OIST)で実施します。OISTの外国人研究者と英語でコミュニケーションを図れるチャンスです！

実施内容

- OIST研究者と英語でディスカッション
- 英語によるOISTツアー・イングリッシュランチ
- 日本語でのディスカッション・ディベート

開催日

2019年
8月3日（土）9:30～16:00

沖縄科学技術大学院大学（恩納村）

参加方法

- HP内のオンラインフォームからお申し込み下さい
- 開始します
- 応募者多数により、参加できないことがあります

参加無料



お問い合わせ：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <http://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf06>



2019年度 ウチナーンチュ子弟等留学生の皆さん沖縄へようこそ！

本事業は、海外へ移住した沖縄県出身者の子弟やアジア諸国から1年間留学生を受け入れ、県内の大学や企業、伝統芸能習得期間で就学・研修させ、その経験を将来的に本県と出身国との架け橋になる人材として育成し、双方の国際交流に寄与せしめることを目的に実施しています。本年度は、アメリカ・カナダ・アルゼンチン・ブラジル・ボリビア・ペルー・中国（福建省）・韓国・台湾の9つの国と地域から計12名のウチナーンチュ子弟等留学生が来沖しました。



4月25日には謝花副知事を表敬し、自己紹介や沖縄での留學生活の目標などを一人ずつ緊張しながらも日本語や沖縄方言を用いて発表しました。謝花副知事からは、学校生活だけでなく沖縄の自然や人々ともふれあい、この1年間の留學生活を有意義に過ごしてほしいと激励の言葉を頂きました。子弟等留学生は県内各地の大学で日本語以外にもそれぞれの専門分野や沖縄の歴史・文化について学ぶ他、琉球料理を学ぶ学生や後半には企業研修を控えている学生がいます。

また、沖縄についての知識を深めてもらう為、平和学習や歴史学習、県内外での研修も行う予定です。今年度の学生も多くのことを経験し、色々な方と出会い人生の糧になる留學生活を過ごしてほしいと願っています。



4/25 沖縄県庁へ副知事表敬

4/25 沖縄県庁にて懇親会



4/12 オリエンテーションの様子



災害時外国人支援サポーター養成講座

島嶼県沖縄の地域防災力を高め、大規模災害発災時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協力しながら避難所巡回を行い外国人の被災状況に関する情報収集やライフラインの多言語化及び発信などを担う「災害時外国人支援サポーター」を育成する「災害時外国人支援サポーター養成講座」を5月11日（土）から全6回にわたり実施し、37名が修了登録しました。



避難所運営訓連の様子

第1回の講座では財団職員が講師となり「災害時外国人支援の課題」と、災害時に溢れる「デマとどう向き合うか」のテーマについて講義や演習を行いました。「私達が日常生活の中でストック（蓄積）してきた防災に関する知識は、必ずしも外国人が同じように知識としてもっているとは限らないし、むしろ欠如している可能性が高い。そのためサポーターとして外国人に情報を発信する際に、情報を足したり引いたりして、災害時に外国人が自分から避難行動を取るようにサポートしないといけない」ということを受講者は学びました。

琉球病院の大鶴副院長と心理療法士の諸見先生による「災害時のこころのケア」や「PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）」の講義や演習では、「被災地の活動を通して、心療医でもこころを病むことがある」というこれまでの事例に触れ、災害時外国人支援サポーターとして「できないことを安易にできると回答せず、できないことに対してできないと表明する勇気も必要」であることを学び、自分自身が支援にあたる際、自身へのストレスや心のケアの大切さも学びました。また、大鶴先生自身が東日本大震災や熊本地震でのDPAT隊員として医療従事者の心のケアに何か月も携わってきた体験談が語られた他、参加者は講義を通して何よりも被災者に寄り添い「傾聴する」ことの大切さや、サポーターが支援活動をしていく中で必ず心の浮き沈みに直面することがあり、そのことに客観的に向き合うことの大切さを学びました。



ワークショップに取り組む受講者



【講義】災害時におけるこころのケア—サポーターの心構え



【講義・演習】災害時に役立つ「やさしい日本語」

大東文化大学講師の前田先生による「やさしい日本語」に関するセミナーでは、情報をシンプルにしたり、必要に応じて外国人の方々が、災害時特有の用語を理解できるよう、情報を足したり、引いたりしなければならないことを学びました。グループで「こう訳した方がいいのでは？」「余震という言葉は分かるか？」など沢山の意見をいい合い協力して「やさしい日本語」をつくっていました。前田先生から「外国人の方に何を一番伝えないといけないのか。難しい日本語を簡単に直訳するわけではなく、言いたいことを伝えなくてはならない」ということを考え、多くのアイデアを出し合い、グループの回答を作っていました。「やさしい日本語」を作るのは全然やさしくなかったが、災害時に大事なスキルになるので日頃から考えることや訳する練習をしていきたい」と習得に悩みながらも前向きな声をたくさんのサポーターから頂きました。

（一財）ダイバーシティ研究所代表理事の田村太郎氏による講座では、「災害時における外国人支援—これまでの災害時対応とこれからについて—」をテーマに災害時における外国人支援には「ストック情報」と「フロー情報」に着目することの必要性を学んだ他、日本全体で永住者資格を取得する外国人が増加している傾向から、地域住民とともに外国人が参画できる地域防災の環境づくりこそが、多文化共生のまちづくりを形成して行く上で必要であることも学びました。「安心して避難生活を送るための支援がしたい」という気持ちを持っているサポーターが大事」という田村氏の言葉にうなづく多くの受講生が見受けられました。



【講義・演習】多文化共生と災害時における外国人支援



【演習】HUG訓練に取り組む受講者

最終回はこれまでの講座の復習も兼ねて避難所運営ゲーム（HUG）机上訓練を実施しました。避難者に見立てたカードを体育館やグラウンドにどのように状況に即して配置するか、グループのメンバーで討論しながら取り組みました。また避難者の対応と平行して様々なシナリオへの解決策を検討しました。例えば、「アルコールが含まれる除菌用シートを配ったところ、外国人避難者から「使えない」と苦情が入りました。どのように対応しますか」など、実際にこれまでの災害時の避難所で起きた事例などをシナリオとして、参加者に対応していただきました。情報の掲示や多言語化など2時間30分の終了修了しました。

参加者からは、「2時間30分の訓練でもとても疲れたのに、実際の災害時の対応を考えると・・・」や「訓練で付与されたシナリオが実際の現場でも起こりうる内容でとても有意義な訓練だった」などの感想が寄せられました。全6回への参加は、受講者の皆さんにとっても大変だったかと思いますが、講座を通して少しでも、島嶼県沖縄の地域防災について考え、また日頃からの防災や減災についての備えに関して学ぶことができたと感じていただければ幸いです。ご参加いただきました皆さん、また講師の方、ありがとうございました！

外国人被災者支援のための「多言語オンライン避難者登録フォーム」

大規模災害時に開設される避難所等において、避難者カードの記入を想定している自治体も多いと思います。しかし、カードの様式が自治体によりバラバラで統一されていなかったり、生年月日を元号記入しなければならなかったり、またアレルギー情報や宗教面で配慮すべき事項が記入できないなど、災害時に外国人が被災することを想定していない内容となっています。また、外国人によりカードに書かれた文字が数字の“1”なのか、ローマ字の“l”なのか、判別する側にとっても時間と労力を要します。

そのような課題を改善し外国人被災者を支援するため、多言語による「オンライン被災者登録フォーム」を開発し、大規模災害時において財団が立ち上げる「災害時多言語支援センター」で活用することとしています。具体的には、我々が育成している災害時外国人支援サポーターや、行政職員と連携し、収集する外国人被災者情報を多言語支援センターで集約し、自治体や領事館・大使館・出入国在留管理局など、支援に必要とされる関係機関と情報の共有を行い、支援につなげます。

フォームは、サポーターのIDにある2次元バーコードや財団HPからもアクセスできます。外国人が持っているスマートフォンからアクセスできますので、サポーター等が避難所を巡回する中で、被災者に寄り添いながら、ハンダ文字など特殊な文字での入力も可能となります。

本フォームがサポーターだけではなく、自治体職員等、関係者にとっても身近に活用できるよう、定期的にセミナーを開催し、身近なツールとして啓発に努めて参ります。

**オンライン
避難者登録フォーム**

多言語支援センター開設時に外国人を支援するために使用します

>

フォームを活用する目的

- ◆外国人被災者の情報収集と集約
- ◆必要機関につなげて外国人の生活再建・帰国支援
- ◆情報収集・集約の効率化と携わる者の負担軽減

フォームの特徴

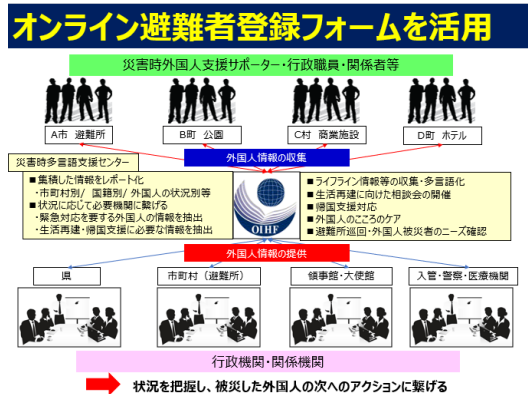
- ◆英語・中国語（簡体・繁体）・韓国語・スペイン語・ネパール語・ベトナム語など7言語対応
- ◆複雑な情報処理・検索条件などに対応し、帳票化が可能

フォームへのアクセス方法

① 災害時外国人支援サポーターID
助動員募集について

よくある質問

② 財団ホームページ
(<http://kokusai.oihf.or.jp>)





財団
主催

イ

ベ

ン

ト

情

報

詳細は財団
ホームページにて
ご覧下さい！
<https://kokusai.oihf.or.jp/>



国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール 沖縄県地方大会 弁士募集



弁士募集内容
与えられたテーマに関して
国際連合の意義や役割に
ついて主張したい高校生の
皆さんからのご応募を
お待ちしております！

弁士募集 (原稿提出) 締切
9月2日(月) 16時必着

主張コンクール
日時：9月14日(土) 13時～
場所：P's SQUARE (浦添市浦添1-1)

テーマ・応募方法
HPでチェック！
<https://kokusai.oihf.or.jp>

主催/お問い合わせ
(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛・大見
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
HP: <http://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf09>

弁士募集!

国際理解・国際協力のための 高校生の主張コンクール

沖縄県地方大会

日時：2019年9月14日(土)

13:00～

場所：P's SQUARE

弁士 応募締切 9月2日(月)
16:00必着

財団HPオンラインフォームに必要
事項を入力し、作品をアップロード
の上ご応募下さい。

国際理解・国際協力のための 中学生の作文コンテスト 沖縄県予選 作品募集

1. 目的
国際連合の意義や役割に関する作文を通して、国際理解・国際
協力について意見を述べたい中学生の皆さんからのご応募を
お待ちしております！

2. テーマ (いずれか1つ・詳しくはHPで!) :
① 災害に強い街づくりのために、私たちが国際社会と共にできること。
② 性別に関係なく、一人ひとりが輝く国際社会の実現に向けて
自分には何ができるか。
③ 違う価値観を持つ人々と共存するためにどうすべきか。

3. 応募締切：2019年9月5日(木) 16時必着

4. 応募方法 :
HP <https://kokusai.oihf.or.jp> でチェック

主催/お問い合わせ
(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 葛・大見
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
Homepage: <http://kokusai.oihf.or.jp> E-mail: kokusai@oihf.or.jp

作品募集!

国際理解・国際協力のための 中学生の作文コンテスト

沖縄県予選

作品 応募締切

9月5日(木)

16:00必着

財団HPオンラインフォームに必要
事項を入力し、作品をアップロード
の上ご応募下さい。

外国人のための法律・生活相談

外国人のための 法律・生活相談



実施内容

■生活相談
財団内に相談窓口を設け、日本の各種社会制
度や生活習慣など、生活するために必要な情報
を提供するほか、日常生活を送る上での困りごと
や悩みごとや直面している問題についての相談に
無料で随時応じます。

対象者 外国人の方

対象となる相談内容

■ビザ・在留資格、国際結婚、離婚、
賃金、労働問題等生活全般に関すること

守秘義務は遵守します

法律相談

予め生活相談を実施し、法律等の高度な専門
知識が必要とされる問題について、必要に応じて
専門機関と連携の上、アドバイスを行います

相談申し込み方法

■HP (<http://kokusai.oihf.or.jp>)
内専用ページのオンラインフォーム
からお申し込み下さい



お問い合わせ：(公財) 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <http://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf09>

外国人が地域住民として
直面する諸問題に関し、
日常的に相談できる窓口
を設置し、外国人向けに
多言語による生活相談を
実施するほか、沖縄弁護
士会等の専門機関との協
働により、在住外国人の
生活面や労働面等を専門
的に支援するための法律
相談会を実施します。





沖縄県内国際交流団体 イベント情報



沖縄県ユネスコ協会



第12回 「平和の鐘を鳴らそう！」「平和学習会」

内容 「7月19日を民間ユネスコ運動の日とし、全国一斉に平和を願い考える。平和学習会のあと、沖縄コンベンションセンターにて万国津梁館の鐘(レプリカ)をひとりひとり平和を願いながら打ち鳴らします。

日時 2019年7月6日(土) 10:00~12:30

場所 【I部】「平和学習会」 沖縄県立宜野湾高等学校(視聴覚室)
【II部】「平和の鐘を鳴らそう！」 沖縄コンベンションセンター

I部 9:30~10:00受付

10:00~11:10「平和学習会」講師：我如古 香奈子
...コンベンションセンターへ移動...

II部 11:35 万国津梁館の鐘前 整列

11:45~12:00 主催者挨拶 高校生による平和宣言

12:00~12:25 平和の鐘を鳴らそう！

12:25~12:30 閉会式

※記念撮影 アンケート記入提出

お問い合わせ
沖縄県ユネスコ協会
TEL：098-866-2746
FAX：098-863-9547
(県教育庁生涯学習振興課内)
info@okinawa-unesco.com

参加費 無料



沖縄スリランカ友好協会



講演会 「スリランカの最近の事情と教育事情」 スリランカの伝統芸能の鑑賞と交流

内容 会長 ディリープ チンドララールによる講演会では、スリランカの最近の事情、教育事情と新設予定の日本スリランカ友好学校の実態を中心にした話。15:00時から40分程度、スリランカ国立芸術大学の教員を含め3名の女性による伝統芸能披露。そのあと交流会を行います。

日時 2019年7月6日(土) 14:00~17:00

場所 沖縄大学3号館101教室

参加費 講演会無料/交流会500円

お問い合わせ
沖縄スリランカ友好協会
TEL：080-9851-7718



財団主催 **日本語教室**

入場無料

**日本語の読み・書きの指導
日常生活に必要な日本語の指導**

**2019年4月～2020年3月
毎週金曜日(週1回)**

**ボランティア
募集中**

19:00～21:00

お申込みは財団HP見学予約フォームへ♪



財団主催

外国語絵本読み聞かせ教室

入場無料

第1回 7月28日(日)

北谷町立図書館

第2回 8月4日(日)

西原町立図書館

第3回 8月18日(日)

沖縄市立図書館

多くのご参加お待ちしております♪

外国語による絵本の読み聞かせを通して
各国の言葉や文化に親しむとともに交流の場を提供します！

対象

・県内在住外国人及び県民の親子20組程度

内容

英語・中国語・ドイツ語・フランス語などの
幼児から児童向け絵本での読み聞かせをします。
読み聞かせ以外にも、講師の方の国についての
紹介や、ちょっとしたゲームもありますので、
親子で楽しい内容となっています

申込方法

・オンライン申請にて受付しています。

開催スケジュール

北谷立図書館

7月28日(日)
11:00～12:00

西原町立図書館

8月4日(日)
11:00～12:00

沖縄市立図書館

8月18日(日)
11:00～12:00

～お問い合わせ～

ご参加お待ちしております！

公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 E-mail: kokusai2@oihf.or.jp

賛助会員募集！

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（略称「OIHF」）は、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同し、活動を支援して下さる、賛助会員を募集しています。沖縄県国際交流・人材育成財団の事業は会員の皆さまの支援によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

【年会費】 個人：3,000円 団体：10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

E-mail:kokusai2@oihf.or.jp